

42th HOKU SHINETSU SPORTS FESTIVAL



カヌー競技
(スラローム/ワイルドウォーター)
プログラム

期 間

令和3年
5月29日(土) ~
30日(日)

場 所

高森町特設カヌー競技場

主 催 (公財)日本スポーツ協会
長野県 福井県 新潟県
石川県 富山県
長野県教育委員会 福井県教育委員会
新潟県教育委員会 石川県教育委員会
富山県教育委員会
(公財)長野県スポーツ協会
(公財)福井県スポーツ協会
(公財)新潟県スポーツ協会
(公財)石川県体育協会
(公財)富山県体育協会

共 催 会場地市町村
会場地市町村教育委員会

後 援 スポーツ庁

主 管 (公財)長野県スポーツ協会
長野県各競技団体

第42回北信越国民体育大会



新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、開催を延期・中止する場合があります。
詳細は長野県教育委員会ホームページにてご確認ください。



この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。



開催の趣旨

国民体育大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

日本スポーツ協会スポーツ憲章

「スポーツ精神」とは、自らスポーツを行うことに意義と価値をもち、スポーツの競技規則、スポーツマンシップやフェアプレーに代表されるマナー、エチケットなどのスポーツ規範に基づき、生涯を通じて自己の能力・適性等に応じて、主体的・継続的にスポーツの楽しさや喜びを味わうことを意味するものとする。

(公益財団法人日本スポーツ協会スポーツ憲章より抜粋)

目 次

若 い 力	1	諸 会 議	8
信 濃 の 国	1	大 会 日 程	8
あ い さ つ	2	競 技 組 み 合 わ せ 表	9
お 祝 い の 言 葉	3	競 技 成 績 表	10
あ い さ つ	4	監 督 ・ 選 手 名 簿	11
歡 迎 の こ と ば	5	カ ヌ ー 競 技 の 見 方	12
競 技 会 役 員	6	競 技 会 場 案 内 図	14
競 技 役 員	7	宿 舎 ・ 大 会 本 部 等	15
式 典 次 第	8		

若い力

日本体育協会選定

佐伯孝夫 作詞

高田信一 作曲

一、若い力と感激に

燃えよ若人 胸を張れ

歓喜あふれる ユニフォーム

肩にひとひら 花が散る

花も輝け 希望にみちて

競え青春 強き者

二、薫る英気と 純情に

瞳あかるい スポーツマン

僕によるこび 君のもの

挙る凱歌に 虹が立つ

友情身にしむ 熱こそいのち

競え青春 強き者

県歌「信濃の国」

浅井 洌 作詞

北村季晴 作曲

一、信濃の国は十州に 境連ぬる国にして

聳ゆる山はいや高く 流るる川はいや遠し

松本伊那佐久善光寺 四つの平は肥沃の地

海こそなけれ物さわに 万ず足らわぬ事ぞなき

二、四方に聳ゆる山々は 御嶽乗鞍駒ヶ岳

浅間は殊に活火山 いずれも国の鎮めなり

流れ淀まずゆく水は 北に犀川千曲川

南に木曾川天竜川 これまた国の固めなり

あいさつ



第 42 回北信越国民体育大会 会長
公益財団法人長野県スポーツ協会 会長
長野県知事 阿部 守 一

第 42 回北信越国民体育大会がここ長野県において盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げますとともに、北信越各県からお越しいただきました選手、監督、役員の皆様を県民を代表して心から歓迎申し上げます。

本大会は、三重県で開催される「三重とこわか国体」への出場権獲得をめざして熱い戦いを繰り広げる北信越最大のスポーツの祭典であります。県民のスポーツへの関心や北信越ブロックにおけるスポーツの振興と競技力の向上に大いに寄与するものと期待しております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による様々な制約がある中で、練習に励んでこられた選手の皆様の熱意と努力、それを支えてきた監督・コーチをはじめとする関係者各位の御尽力に対して改めて敬意を表します。選手の皆様には、郷土の代表として日頃鍛えられた力を存分に発揮されますことをお祈り申し上げます。

本県では令和 10 年に開催予定の第 82 回国民スポーツ大会、第 27 回全国障害者スポーツ大会に向け開催準備を進めております。両大会を契機として、より多くの県民が「する」「みる」「ささえる」など様々な形でスポーツに親しむことができるよう、環境整備やスポーツを通じて交流できる場の確保などを進めております。本大会が両大会への気運醸成につながれば幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり多大な御尽力をいただきました会場地の市町村をはじめ関係者の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、選手の皆様の御健闘、御活躍を心から祈念申し上げ、あいさつといたします。

お祝いの言葉



長野県議会議長 宮本 衡 司

第42回北信越国民体育大会が、美しい山並みに抱かれ、歴史と文化の息づくここ長野県において開催されますことをお祝い申し上げ、選手及び御関係の皆様方の御来県を、地元長野県議会を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

各県での厳しい予選を勝ち抜き、県代表として本大会への出場を果たされた選手の皆様、誠におめでとうございます。

本大会は、三重県で開催される「三重とこわか国体」の予選会として、また北信越地域のスポーツ振興や交流に寄与するものとして、これまで40年以上にわたり開催されてきた大変伝統のある大会でございます。

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、思うように練習ができないこともあったかと存じますが、選手の皆様には、日頃の練習の成果を十分に発揮され、輝かしい成果を収められますとともに、本大会を通じ、選手相互の友情を大いに深め、未永く心に残る素晴らしい大会となることを祈念申し上げます。

スポーツは、心身の健康増進や体力向上等に大きな役割を果たすとともに、人々に勇気と感動を与えるものであります。コロナ禍のこのような時期であるからこそ、どうか皆様におかれましては、スポーツの素晴らしさを広げるとともに、今後も、スポーツ振興のため、より一層、御活躍いただきますよう、期待しております。

結びに、本大会の開催に当たり、多大な御尽力をいただきました関係の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、本大会の御成功と選手の皆様の御健闘を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

ごあいさつ



長野県カヌー協会

会長 熊谷元尋

第42回北信越国民体育大会カヌー競技の開催に、北信越各県から選ばれ参加される選手の皆さんを迎え、長野県のカヌーイストを代表して心から歓迎申し上げます。また、「三重とこわか国体」への出場権をかけて、下伊那郡高森町の天竜川においてスラローム・ワイルドウォーター競技が、飯山市の北竜湖においてスプリント競技が開催できますことを大変嬉しく存じます。

今大会の会場は2028年長野国体の開催候補地として地元関係者とともに準備を進めているところです。そこで行われる熱いレースをきっかけにますますカヌー競技が発展することを願っています。

新型コロナウイルスの感染拡大により社会の情勢は大きな変化を余儀なくされてきました。スポーツの世界も同様、日々の練習から感染症対策に取り組むなど様々な困難を乗り越えてこの大会に臨んでいる選手・監督・関係者の方々のご努力に敬意を表します。

いかなる時代においても、自分を鍛え目標に向かう姿は人々に感動と勇気を与える力があると信じています。このような状況だからこそスポーツの持つ力が必要と考えます。

皆様のご努力にお応えできるように、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、安全な大会運営をいたします。

結びに、本大会の開催にあたりご支援とご協力を賜りました飯山市、高森町をはじめ多くの関係者の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。本大会の盛会をご祈念申し上げ歓迎のご挨拶とさせていただきます。

歓迎のことば



高森町長 壬 生 照 玄

第 42 回北信越国民体育大会のカヌー競技（スラローム/ワイルドウォーター）が高森町において開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

北信越各地からお越しいただきました選手・監督並びに関係者の皆さまに対し、高森町民を代表し心から歓迎申し上げます。

各県を代表して北信越国民体育大会に駒を進めてこられた選手の皆さまには、日ごろの厳しい練習の成果を十分に発揮していただくとともに、郷土の代表としての誇りを胸に、今年度三重県で開催される「三重とこわか国体」への出場を目指し、熱い戦いが繰り広げられることを期待しています。

本大会の成功と、選手の皆さまのご活躍をご祈念申し上げます。

競 技 会 役 員

名誉会長	壬生 照玄				
会長	熊谷 元尋				
副会長	重森 俊道	塚田 一郎	佐々木 紀	宮本 光明	
顧問	小澤 康雄	大島 正光	帯刀 昇		
参与	福島 直美	西川 順二	小金 典子		
委員長	武江 一				
副委員長	前田 博司	近藤 雅晴	井田 秀喜	橋本 充	
委員	野口 雄慶	近藤 雅晴	久司 満	高木 信寿	
	寺沢 浩之	遠山 景太	橋本 渉	岩口 友雄	
	三沢 茂	小川 隆司	松崎 愉		

競 技 役 員

競技委員長	武江 一				
競技副委員長	北澤 啓二				
総務	松崎 諭	寺沢 浩之	小川 隆司		
審判長	橋本 充				
区間審判員	井川 祥志	中川紗耶香	高橋 駿哉	櫻井 忍	
審判員	小林 千明	熊谷 直樹	近藤 隆彦	矢澤 雅樹	
	野沢 尚	神田 志保	清水 大輔	内山 美樹	
発艇員	森山 一樹	島田 洋治			
決勝審判員	柳本 正澄	佐藤妃花瑠			
記録員	竹川 将史				
救護員	佐藤えり子				

式典次第

【開始式】

期日 5月30日（日）
時間 午前9時より
場所 高森町下市田親水公園

次 第

- 1 役員・選手団整列
- 2 会式通告
- 3 競技会開始宣言
- 4 国歌斉唱
- 5 若い力斉唱
- 6 競技会会長あいさつ
- 7 歓迎のことば
- 8 競技場の注意
- 9 選手宣誓
- 10 閉式通告
- 11 役員・選手団解散

【表彰式】

期日 5月30日（日）
時間 午後1時より
場所 高森町下市田親水公園

次 第

- 1 役員・選手団整列
- 2 会式通告
- 3 成績発表
- 4 表彰
- 5 競技会会長あいさつ
- 6 競技会終了宣言
- 7 閉式通告
- 8 役員・選手団解散

諸 会 議

会議名	期 日	時 間	場 所	電話番号
監督会議	5月29日（土）	午後4時より	高森町 下市田親水公園	会場責任者 武江 一 090-1827-5114

大 会 日 程

令和3年5月29日（土）

9:00～17:00 公式練習
11:00～16:00 検艇
16:00～ 監督会議

令和3年5月30日（日）

8:20 役員集合
8:50 役員・選手団整列
9:00 開始式
10:00 スラローム決勝1本目
11:00 スラローム決勝2本目
11:40 ワイルドウォーター決勝
13:00 表彰式・閉会式

競技組合せ表

男子スラロームカヤックシングル

決勝

選手名	県名	1本目		2本目	
		発艇順	発艇時間	発艇順	発艇時間
佐藤 颯柊	長野	1	10:00	9	11:00
藤井 大智	富山	2	10:02	10	11:02
佐伯雄太郎	新潟	3	10:04	11	11:04
金谷 徹	福井	4	10:06	12	11:06

男子スラロームカナディアンシングル

決勝

選手名	県名	1本目		2本目	
		発艇順	発艇時間	発艇順	発艇時間
田川 篤	新潟	5	10:08	13	11:08
塚原嘉之佑	富山	6	10:10	14	11:10

女子スラロームカヤックシングル

決勝

選手名	県名	1本目		2本目	
		発艇順	発艇時間	発艇順	発艇時間
荒城 祐佳	富山	7	10:12	15	11:12
伊藤 由佳	福井	8	10:14	18	11:14

男子ワイルドウォーターカヤックシングル

決勝

選手名	県名	発艇順	発艇時間
内山 岳佳	長野	1	11:40
岩瀬 晶伍	新潟	2	11:42
國京 健二	福井	3	11:44
久司 満	石川	4	11:46

女子ワイルドウォーターカヤックシングル

決勝

選手名	県名	発艇順	発艇時間
笹生 裕子	石川	5	11:48

競技成績表

スラローム競技

男子スラロームカヤックシングル

発艇順	県名	ゼッケン	氏名	発艇時間	到着時間	所要時間	減点	合計	順位	成績
1	長野	4	佐藤 颯柊	10:00						
9				11:00						
2	富山	6	藤井 大智	10:02						
10				11:02						
3	新潟	1	佐伯雄太郎	10:04						
11				11:04						
4	福井	11	金谷 徹	10:06						
12				11:06						

男子スラロームカナディアンシングル

発艇順	県名	ゼッケン	氏名	発艇時間	到着時間	所要時間	減点	合計	順位	成績
5	新潟	3	田川 篤	10:08						
13				11:08						
6	富山	7	塚原嘉之佑	10:10						
14				11:10						

女子スラロームカヤックシングル

発艇順	県名	ゼッケン	氏名	発艇時間	到着時間	所要時間	減点	合計	順位	成績
7	富山	8	荒城 祐佳	10:12						
15				11:12						
8	福井	13	伊藤 由佳	10:14						
16				11:14						

ワイルドウォーター競技

男子ワイルドウォーターカヤックシングル

発艇順	県名	ゼッケン	選手名	発艇時間	到着時間	所要時間	成績
1	長野	5	内山 岳佳	11:40			
2	新潟	2	岩瀬 晶伍	11:42			
3	福井	12	國京 健二	11:44			
4	石川	9	久司 満	11:46			

女子ワイルドウォーターカヤックシングル

発艇順	県名	ゼッケン	選手名	発艇時間	到着時間	所要時間	成績
5	石川	10	笹生 裕子	11:48			

監督・選手名簿

県名	監督 (所属)	種別	種目	ゼッケン 番号	選手 (所属)
新潟県	岩瀬 晶伍 (一般社団法人 三条市スポーツ協会)	男子	SK-1	1	佐伯 雄太郎 (パール金属株式会社)
			WK-1	2	岩瀬 晶伍 (一般社団法人三条市スポーツ協会)
			SC-1	3	田川 篤 (G-BLAST)
長野県	篠原 武文 (日精樹脂株式会社)	男子	SK-1	4	佐藤 颯柊 (篠ノ井高校犀峽校)
			WK-1	5	内山 岳佳 (広田産業株式会社)
富山県	佐伯 岩雄 (チロル)	男子	SK-1	6	藤井 大智 (富山高等専門学校射水キャンパス)
			SC-1	7	塚原 嘉之佑 (山梨大学医学部付属病院)
		女子	SK-1	8	荒城 祐佳 (ゼビオ株式会社)
石川県	笹生 裕子 (小松市立高等学校教員)	男子	WK-1	9	久司 満 (県立小松高等学校教員)
		女子	WK-1	10	笹生 裕子 (小松市立高等学校教員)
福井県	近藤 英幸 (株式会社ウエマツ)	男子	SK-1	11	金谷 徹 (福井県カヌー協会)
			WK-1	12	國京 健二 (JA共済連福井)
		女子	SK-1	13	伊藤 由佳 (公益財団法人福井県スポーツ協会)

カヌー競技の見方

カヌー競技の現況

昭和 39 年（1964 年）東京オリンピックのカヌー競技に日本が初めて参加して以来、カヌースポーツに対する国民の関心が高まってきました。

もともとカヌーは、私たちの祖先が海・湖沼などで物資輸送や交通手段、そして狩猟に使用するなど生活に欠かせない道具として、大切にされてきました。

そのようなことから歴史は古くいろいろなスポーツよりも人々に親しまれています。特に、欧州各国での普及はめざましく、1924 年パリオリンピックで公開競技、1936 年ベルリンオリンピックから正式競技に採用され、世界でも最も普及したスポーツとなっています。

近年は、自然と親しむアウトドアスポーツとしても注目を集め愛好家も増えて、生涯スポーツとして盛んに行われています。我が国においては、日本カヌー連盟を中として全国各都道府県にカヌー協会が設置されております。国民体育大会には、昭和 57 年第 37 回国民体育大会（島根県）より正式競技として採用され、全国に充実発展しています。

カヌーの概要

カヌーには、カヤック（K）とカナディアン（C）の 2 種類があります。カヤックは、艇の中央部に座り、パドル（櫂・かい）の両端にあるブレード（水かき）で、左右交互に水をかきながら艇を進めます。また、カナディアンは、立てひざもしくは片ひざの姿勢を保ち、片側にブレードのついたパドルを操作し進みます。スプリント艇（カヤックのみ）のみ、足で舵（かじ）を操作しながら方向を整えますが、それ以外はすべてパドルを操作し、方向を整えながら進みます。

ボートとカヌーの違いは、ボートはリガー（オールを固定する場所）が取り付けられているのに対し、カヌーはどのタイプもパドルが固定されていません。また、ボートは後ろ向きに漕ぎ推進させますが、カヌーはすべて前向きに漕ぎ推進させます。

カヌー競技の種目と種別

国民体育大会の競技には、清水面で行う「カヌースプリント競技」と河川の急流で行う「カヌースラローム競技」「ワイルドウォーター競技」の 3 種目があります。

各種目とも、選手は（A）・（B）に参加できることになっています。

- ・カヌースプリント （A）200m （B）500m
- ・カヌースラローム （A）15 ゲート （B）25 ゲート
- ・カヌーワイルドウォーター（A）スプリント（B）1250m（1500m）

カヌースプリント

流れのない河川・湖沼・港湾等を利用し、一定の距離とレーン（水路）を決めて着順を競います。

国体での競技種目は、成年男子、成年女子ともにK-1（一人乗り）、C-1（一人乗り）の2種目があり、少年男子がK-1、C-1、K-2（2人乗り）、C-2（2人乗り）、K-4（4人乗り）の5種目、少年女子がK-1、K-2の2種目、合計10種目となっています。*K-4は少年男子と少年女子が隔年（奇数年は男子、偶数年は女子）で行い、三重国体では少年男子が実施されます。

カヌースラローム

カヌーを使った回転競技で、変化に富んだ流れのある河川で行う競技です。ダウンストリームゲート（漕ぎ下り：緑と白のポール）とアップストリームゲート（漕ぎあがり：赤と白のポール）を、パドルを使ってポールに触れないように通過し、その速さを競います。国体では、25ゲートと15ゲートで競技が行われ、コースの距離は250m～400m以内でゲートが設定されます。順位は、スタートからゴールまでの所要タイムに、各ゲート通過時のペナルティ（罰点）を加えて決定します。漕ぐ速さと正確さが求められます。したがって、点数の少ない方が上位となります。各選手は2回漕行し、そのうちの良いほうの成績で順位付けがされます。

・ゲート通過時のペナルティ

正しく通過・・・・・・・・・・0点

ポールに触れる（何回触れても）・・・・・・・・・・2点

不通過・・・・・・・・・・・・・・・・・・50点

・成績の計算例

スタートからゴールまでの所要時間（1分40秒として）

1分40秒=100秒=100点

ペナルティ（罰点） ポールに接触1カ所、不通過1カ所として

2点+50点=52点

成績（タイムとペナルティの合計）

100点+52点=152点

カヌーワイルドウォーター

岩などの障害を交わしながら、流れの激しい河川を一気に漕ぎ下る競技で、順位は所要タイムの少ない方が上位となります。流れを読む力が要求されます。

国体の競技は、1250m（1500m）とスプリント（300m～600m）の2つの距離で行われます。スプリントは2回漕行した合計タイムで順位を競います。

宿 舎 一 覧 表

県 名	宿 舎 名	所 在 地	電 話
福 井	ホテルルートイン飯田	飯田市育良町2-3-5	0265-25-1622
新 潟	ホテルルートイン飯田	飯田市育良町2-3-5	0265-25-1622
石 川	割烹旅館美好	下伊那郡高森町下市田2940-14	0265-35-2069
富 山	ホテルルートイン飯田	飯田市育良町2-3-5	0265-25-1622
長 野	ホテルルートイン飯田	飯田市育良町2-3-5	0265-25-1622

競技会本部・記録本部

高森町特設カヌー競技場
〒399-3103 高森町下市田親水公園付近
会場責任者・記録責任者 武江 一
TEL 090-1827-5114

救 急 指 定 病 院

慶友整形外科
〒395-0003 飯田市上郷別府3367-8
TEL 0265-52-1152

すきから医院
〒395-0084 飯田市鈴鹿町1丁目24
TEL 0265-53-1000

大 会 本 部

第42回北信越国民体育大会実行委員会事務局
長野市大字南長野幅下692-2
TEL 026-235-7442 FAX 026-235-745 1